

夢の中へ

——探しものは何ですか？

柳瀬宏司 (高34回)

「2019年11月9日土曜日 午前10時過ぎ アルカディア市ヶ谷」

飯田から来場の「いいだ人形劇フェスタ」実行委員長の原田雅弘さん他の皆様が到着したことを確認して、幹事学年高34回生の40名を超える仲間と顔を合わせての全体朝礼が始まった。

「おはようございます。幹事長を務めさせていただいております柳瀬です。幹事を紹介していきます。まずは上原法子さん、2年前の総会に同期で1人きりで参加して以来34回生集めに必死になっていた口説きのプロ、私もこの人にだまされて幹事長を引き受けてしまいました。副幹事長でB班班長の香山真さん、私と同じクラスで担任の吉田先生をしてG組の奇跡といわせた、夏までテニスの部活を続けてT大学に現役合格した不思議な人。各班の紹介に移りまして、A班は遠山貴巳教授、この人が

飛ばすしんべこと田中真治さんです……」

1年前の総会の日にかかのぼる。34回生ライングループ新入りの私は、上原さんに促されて初めて総会に参加しようとしていた。しかも当日は人間ドックで、遅れての参加。懇親会直前で、はじめましての彼女との出会い、知らない人だらけの中でG組の宮内さんに会って、37年ぶりの再会に心から安堵。そしてひと息つく間もなく会終了前に壇上上がり、なぜか前幹事長の代田秀雄さんから引き継ぎ資料を受け取っていた。こうして34回生としての激動の幹事生活がスタートした。

「同年8月3日土曜日 午後2時少し前 飯田文化会館」

「いいだ人形劇フェスタ」見学のため帰郷していた上原さん、宮内さんと合流。そして原田さんのいる本部に挨拶に行った時に、仰げば尊しG組担任の吉田栄二先生、奥さんで同級生の旧姓堀口さんと久しぶりの再会。これも幹事になったからかと有難い思い。なぜか先生一番若い。



担任の吉田先生（左から2人目）ご夫妻と



●やなせ・ひろし
飯田市馬場町出身。一橋大学社会学部卒業。麒麟麦酒株式会社を経て2018年からシモンズ株式会社監査室室長。公認内部監査人、日本ソムリエ協会認定ソムリエ等々の資格を持つ。趣味は語学とマラソン。

いないとリニアは開通できません。そしてパソコンに精通し助けてくれた大橋由香里さん。B班副班長は宮内昌代さん、汐留の通信社を裏で仕切っているという噂は本当なのか。そして早坂寿子さん、記憶力抜群で忘れたことをすぐ教えてくれるマイメモリ。C班班長はメグこと小泉恵子さん、千代が生んだママシも驚くスーパースターで何でも引き受けてくれるクリエイター。そして服部孝さん、長崎からいろいろとリモートコントロールをしてくれました。D班は農林水産省の役人コンビ、班長は休み前日に深夜まで飲み歩くハイマーマ宮嶋伸臣さん、海がない県出身でもなぜか水産庁の牧野兼弘さん。さらに飯田から幹事会に何度も出席し、飯田の仲間もまとめてくれた銀座育ちで天龍村有名ブロガーである宮澤弘明さん。そして司会は台本を練り上げてくれたルーシーこと平田光子さん。議長はこの人がいれば誰が来ても投げ

「同日午後3時 本町蔵」

入口で並んでいると、あれ？ 見たことある人が。なんとG組の木下ひろみさんに、卒業以来奇跡的に再会。上原さんと3人で今回の講演者でもある34回生の北原市督さん、北原則子さん所属の劇団田辺「普通の生活」を観劇。独特のシニールな世界観にしばれた。

「再び11月9日土曜日 午後5時前 アルカディア市ヶ谷」

「蛍の光」が流れている。2000人を超える皆様に参加いただいた。佐々木会長他役員の皆様、そして34回生、時間と頭脳と技能を提供してくれた各幹事や飯田から応援に駆けつけてくれた仲間感謝しつつ、撤収が進む会場を見渡していた。そうだ、これから上京組を交えての2次会、心おきなく飲もう！



ある日の幹事会

「同日午後11時過ぎ 自宅ベッド」

井上陽水の名曲のリフレインが止まらない、そして気が付いた。高校生活に小さな穴が開いていた自分にとっての「探しもの」を、ついに見つけたと。